



『農商工連携セミナー』 第1回・第2回 開催報告！

開催日時：平成26年10月10日 金曜日 第1回 午前9:30～ 第2回 午後13:30～

講師：渡辺 千佳子氏 マダム・ポー研究所

講師の渡辺氏は、聖心女子卒業後、1988年東京から鹿児島に移住。大自然の過疎から新鮮な農産物を地元の生産者と研究開発し、「過疎地から最先端の商品提供」に取り組んでいます。数々の賞を受賞されています。

第1回目 「屋久島の元気な商品を作るために必要なこと」と題して、屋久島の素材を基にして参加者全員で方向性を考えました。商品作成に取り掛かる前にまず、①何を使いたい（野菜）活かしたい特徴 ②何を作りたいか ③着地点の味付けは？ ④消費者目線でトータルチェック ⑤容器選び ⑥正しいお値段の価値設定 を念頭におき、作成する事により、間違いのない商品が出来るそうです。そして、出来上がった商品は信用を作る為にも、積極的にコンクールに出品することが大切。栄養分析・残留農薬の検査結果を添付する事も安心感を与えます。また、自分の求めるバイヤーを見つける事も、重要になるそうです。

第2回目 六次産業化に向けて・・・「新商品開発にあたっての留意点とは」

1次産業・2次産業から始まり、6次産業へ。沢山の人の通して商品が開発されていく。様々な疑問とぶつかりながら、向き合う姿勢を学び1つの商品が完成します。多くの失敗を重ねる事により、成長します。商品作りには、起承転結があります。作りたい商品の答えは、個々の中にあります。家庭料理は足し算：好みの味に調味料を足していく。商品は引き算：際立たせたい味を強調させるように余計な調味はしない。商品作りの構造が組み立てられる、とても参考になったセミナーでした。

－受講生の声－

○出来上がった商品が、どの棚に陳列されるのかをイメージして製品作成をしていく事が大事だと知りました。

（40代・女性）

○柔軟性を持って考える事が大切だと知りました。（40代・男性）

○実体験に基づいていて、とても分かりやすかった。（40代・男性）

その他、多数ご意見・ご感想を頂き、ありがとうございました。